



山路 良成 議員(公明)

### 自転車の安全利用と走行環境整備の促進などについて

①6月に施行された「改正道路交通法」では自治体に対し、効果的な広報や各種安全講習会等、新たな交通ルールの周知徹底を図ることとしている。魅力的な講習会とするために、自転車安全整備士の点検整備による、傷害および賠償責任保険つきのTSMマーク発行等を講習会の中で行う。②歩行者や自動車との共存も含めた、自転車の安全な利用および環境整備のための条例の制定を。③3人乗



立会川浄化施設が運転開始

り自転車に関して、安全な自転車ができれば規制緩和もあり得る方向が示されているが、購入者に対し助成の検討を。④八ツ山歩道橋など区内各所の歩道橋下のデッドスペースに駐輪場を設置しては。ま

まちづくり事業部長 ①TSMマークの発行については自転車販売業者や警察署等関係者と協議をする。今後も、講習会の内容の充実に努める。

②まず現在実施しているさまざまな活動の中で見直すところがないかどうか検討しているところだ。③警察庁において、有識者会議等で検討中とのことなので、区としては現在のところ考えていない。④八ツ山歩道橋下について、所轄警察署と安全な利用が可能かどうか協議をしている。その他の歩道橋の下への設置については、利用可能な場所があるかどうか調査を行う。

も更新する考えがあるのか。また、新たに借り上げる考えは。②介護が必要になっても住み続けられる、高賃貸制度を活用した高齢者住宅と特別養護老人ホームとの合築による複合施設の建設を。③高齢者住み替え支援モデル事業の創設の検討状況は。④八潮地区でのモデル事業、高齢者住み替え住宅を検討する際には、先ほど提案した特別養護老人ホームを合築した高齢者住宅の建設を具体的に検討、推進しては。⑤東京都防災・建築まちづくりセンターが実施する高齢者円滑入居賃貸住宅制度へ、高齢者の賃貸住宅への入居を確保するために、区は同センターに参加を。⑥住宅のバリアフリーの促進は、事故防止だけではなく、車いす利用に備えて、高齢者の自立した生活を支えることにつながる。区の住宅バリアフリーの促進策等を伺う。

### 高齢者の安全・安心の住まいの確保等について

①借上型高齢者住宅について、借り上げ契約の更新期が到来するが、区は期間終了後

も更新する考えがあるのか。また、新たに借り上げる考えは。②介護が必要になっても住み続けられる、高賃貸制度を活用した高齢者住宅と特別養護老人ホームとの合築による複合施設の建設を。③高齢者住み替え支援モデル事業の創設の検討状況は。④八潮地区でのモデル事業、高齢者住み替え住宅を検討する際には、先ほど提案した特別養護老人ホームを合築した高齢者住宅の建設を具体的に検討、推進しては。⑤東京都防災・建築まちづくりセンターが実施する高齢者円滑入居賃貸住宅制度へ、高齢者の賃貸住宅への入居を確保するために、区は同センターに参加を。⑥住宅のバリアフリーの促進は、事故防止だけではなく、車いす利用に備えて、高齢者の自立した生活を支えることにつながる。区の住宅バリアフリーの促進策等を伺う。

### 福祉高齢事業部長

①オーナーの意向もあるが、現状のストックは少なくとも維持することが必要だと考える。今は建設型を中心に据えていくので、借上型を増やす考えはない。②入居者がある程度介護を必要とする状態になっても併設施設から食事・入浴等の支援を受け生活できる新高齢者住宅の検討を進めているなどだ。③片内の関係各所管で構成する、住まいの情報センターあり方検討会の中でさらに検討する。④高齢者住宅の居住者に対して見守りを含め柔軟に対応できるのは、新制度である小規模多機能型居宅介護だと考えている。⑤区で実施している高齢者住

宅あつせん制度の中で対応する。⑥介護保険制度に基づく住宅改修等、生活スタイルの見直しまでを含めた普及啓発等を行っている。

### 品川区文化芸術・スポーツのまちづくりについて

①往原地域に、総合的な文化芸術や生涯学習等の活動拠点を整備する機は熟した。学校跡地を有効活用した文化施設の建設を。②文化芸術・ス



菊地 貞一 議員(共産)

### 「長生きはいけないのが」区民に渦巻く怒りの声、後期高齢者医療制度は廃止を

①廃止を求める理由の大きな2点は、保険料の問題と、診療報酬を別建てにしている問題だ。区長は国に対し後期高齢者医療制度の廃止を求めべきと考えるが、いかがか。区長 ①人口構成の推移等を踏まえ、この制度を必要なものとする判断をしている。今後、低所得者への負担軽減措置は検討するべきだが、制度の廃止を働きかける考えはない。

どのように対処をしていくのか。②南品川換気所の工事について、ミキサー車が1千200回往來する工事計画は無謀だ。計画を抜本的に見直すまで着工を許すべきではないと考えるが、いかがか。③正式な説明会を、周知範囲を広げて、幾度も開催することを都に申し入れるように求める。④東京大気汚染裁判では、微小粒子状物質、PM2.5について、環境基準設定も含めて検討することを初めて国が約束することとなった。PM2.5の基準が決定するまで工事を中止し、環境アセスメントをやり直すように求める。⑤PM2.5について、区はどのような認識を持っているのか。⑥車両の流入制限が最大の汚染対策であり、品川線

### 深刻な工事被害と大気汚染が進む中央環状品川線建設は中止を

①区は振動・騒音被害が甚大となる五反田換気塔の関連工事に対し、どのような指導を行うのか。また、命がむしばまれるような被害の実態に

スポーツ振興基金の創設を。また、文化芸術活動に寄附する個人の方に寄附金税制優遇制度のような受け皿を。区長 ①文化芸術の拠点整備は往原西地区の学校跡を活用する際の選択肢の一つではないかと考えており、改めて地域の皆様のご意見を伺いたい。②区民と区との協働を進める観点からも大きな効果を期待できるものと考えている。今はその具体化に向けて検討する。

建設の中止こそ求められると考えるが、いかがか。まちづくり事業部長 ①都からは、ご指摘のような甚大な振動・騒音被害が生じているとは聞いていない。②6名の交通誘導員を配置し、安全を確保するというところから、ご指摘のような無謀な工事計画ではないものと考えている。③都は、町会等を中心とした個別説明会や意見交換会等を行っており、区から再度の申し入れをするつもりはない。④最新技術を用いた脱硝装置等を導入することなどを都に要望してきたところであり、改めてやり直しを求める考えはない。⑤都は、実態解明のため微小粒子状物質検討会を設置し、平成22年度末を目途に対策等を策定するので、区としても注視する。⑥都は中央環状線が完成すると、首都高速道路全体のネットワークが効率よく機能し、都心環状線等の慢性的な渋滞の緩和等がされ、その結果、沿道環境が改善されるとの立場に立っている。区も同様に品川線は必要だと考える。

い。なぜ待機見ゼロを目標に掲げないのか。②再開発により増加したファミリー層とそこの地域の保育需要に見合った認可保育園の整備計画を持つべきだと考える。また、今後の保育需要の動向をどのように予測しているのか。認可保育園の大幅な増設で対応するべきだと考えるが、方針を伺う。③中止となった平塚地域の認可保育園計画について、区は「地元のご期待や今後の保育需要等を真摯に受けとめ、今後の施設計画に生かす」と答弁したが、直ちに具体化をするべきだ。計画の進捗状況を伺う。

### 児童保健事業部長

①受け入れ枠の拡大等の施策は、待機児の解消を目的として実施しているもので、区は就労と子育ての両立支援を保育行政の最大の課題ととらえている。②保育需要について、当分の間は微増傾向で推移するものが見込んでおり、引き続き待機児解消策として、今後4年間で、300人程度の定員増を図る予定だ。施設型保育の需要はいずれ減少することも予測されるので、需要動向の正確な把握に努め、柔軟で多様な子育て支援策を検討することが重要だ。③平塚幼稚園を母体とした幼保一体施設の検討状況について、お答えした考えに変わりはない。

### 280人が入れない、今こそ認可保育園の増設で待機児解消を

①保育園に申し込んでも入れない事態は、自治体の責任として解消しなければいけない。

### おしらせ

区議会では、本会議の詳しい記録として、会議録を作成し、後日、区内図書館に配布しています。また、目の不自由な方には、本区議会だよりの朗読を録音したカセットテープを貸し出しています。ご希望の方は、区議会事務局調査係までお問い合わせください。電話(5742)6810